

日本画像学会
2024年度 第67回定時総会

2024年6月12日(水)
13:00～13:50
東京工業大学 すずかけホール

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会 第67回定時総会

2024年6月12日(水)13:00-13:50

- Zoomオンライン参加の方へのお願い
 - ✓ Zoomでの表示名を、「中山信行」、のように「姓名」に設定していただくようお願いいたします。
 - ✓ 参加記録のため、チャットに、ホスト宛てで、お名前の記載をお願いいたします。
 - ✓ 発言の際や議決の際は、Zoomの挙手ボタンを使用します。
 - ✓ 総会終了後13:50～14:10に表彰式をハイブリッド開催いたします。こちらも引き続きご参加をお願いいたします。

日本画像学会 新体制について

新会長

藤井 雅彦 (慶應義塾大学SFC)



新副会長

前田 秀一 (東海大学)



木崎 宏恵 (三菱ケミカル)



2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

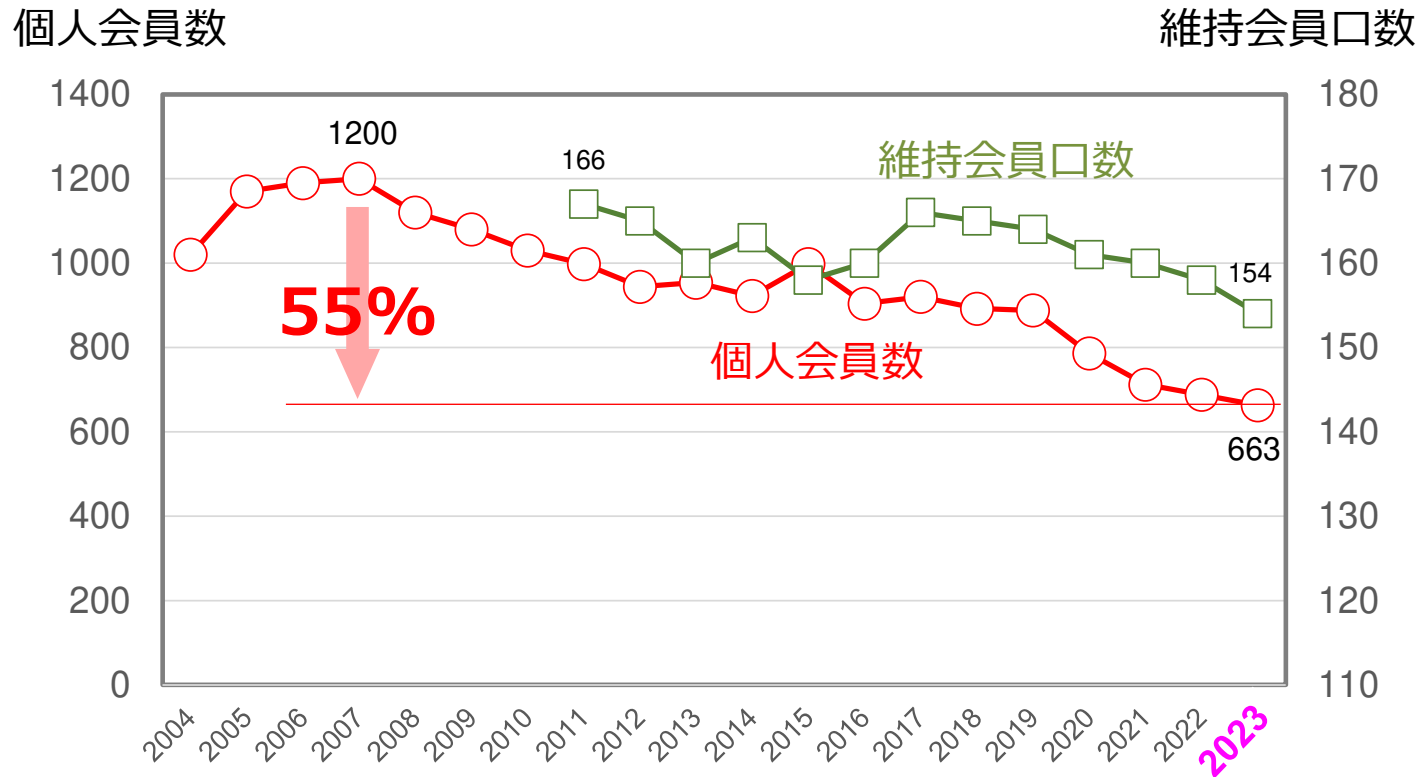
- 2023年度学会活動トピックス -

- **ICJ2023** (6/28-6/30@千葉大学)
約200名参加, 発表34件, Satellite ICAI併催
- **ICJ2023 Fall** (11/13-11/14@名古屋大学)
52名参加, 発表13件
- **4DFF2023** (11/1-11/2@ブリチストングローバル研修センター)
130名参加, 発表34件
- **技術研究会**(電子写真技術研究会, 電子ペーパー/フレキシブル研究会),
Imaging Café(2回)・・・今年度通算100回達成.
- **フリートーキング, 関東シンポジウム, 関西シンポジウム**
- **技術講習会, 視覚と画像の基礎講座, 複写機遺産認定**(4機種)

新型コロナが5類に引き下げられ, オンラインのみ→会場/オンラインのHybrid開催への移行が進み, イベント開催状況としては徐々にコロナ禍前に戻りつつある.

しかし

- 2024年度日本画像学会活動方針 -



画像技術は社会で価値を生み出さなくなったのか? . . . **NO**

画像技術が使われている**場所***，必要とされる場所は多い

*アプリケーション・市場

今後も価値を創出して届けるために，学会を活性化させなければならない

- 2024年度日本画像学会活動方針 -

1. 日本画像学会のスコープ^①技術を活かす場所を拡げる

- 対象とするアプリケーションの拡大, 技術を使うサプライチェーンの上流から下流までを学会に取り込む.

2. 学会の役割を拡げる: これまで以上に技術者・研究者の成長の場としての学会の役割を果たす

- 組織, 年齢の差を超えて自由に議論をし, それぞれが成長して組織に戻り貢献できる役割を学会が果たす.

3. 学会の組織, 活動に若手, 女性技術者・研究者の参画を増やす

- 問題・課題に対する感度の向上, 多様な改善策・アプローチ導出.

4. 学会の存在価値・認知度向上

- これまでアプローチしていない, あるいは不十分な組織・団体・個人の洗い出しと, アプローチの仕方自体の工夫. 積極的なアプローチ.

5. 理事会・委員会組織の活性化

- 上記4つの方針を達成する施策を早急に具現化し, 役員・委員が積極的に関与し, 確実に実行する.

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

定足数と事前投票・本日出席者数の報告

①社員総会の会員数	611
定足数(①÷2)	306

回答結果

②回答者数(③+④)	381
③メール回答数	379
④ハガキ回答数	2
回答内容	
⑤総会出席者数	52
⑥欠席者数(⑦+⑧)	329
⑦議決者数	30
⑧委任者数	299
回答率(②÷①)	62.0%

- ・既議決者数30＋委任者数299＋本日の出席者数52＝合計381名。
- ・本総会の出席者数は定足数を十分に満たしていることをご報告します。

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第1号議案： 役員承認

(1/3)

第1号議案
2024年度役員候補

(1)2024年度の改選候補（任期:2024年6月ー2026年6月まで）

- *: 前任者任期が2024年度定時総会までのところ任期満了前に退任したため、2022年度から役員代理に就任中の新任候補、もしくは前任者が2024年度定時総会で任期を満了し退任するため新たに推薦された新任候補
- ** : 前任者任期が2025年度の定時総会までのところ、2023年度末までに退任したため、その任期を引き継ぐ新任候補
- 無印: 任期が2026年度定時総会までの役員候補(留任希望)

区分		氏名		所属
理事候補	1	藤井 雅彦		慶應義塾大学
	2	前田 秀一		東海大学
	3	木崎 宏恵		三菱ケミカル(株)
	4	梅津 信二郎		早稲田大学
	5	面谷 信		東京電機大学
	6	加川 哲哉		コニカミノルタ(株)
	7	垣内 徹	*	ブラザー工業(株)
	8	木内 豊	**	富士フイルム ビジネスイノベーション(株)
	9	小山 明紀	**	京セラドキュメントソリューションズ(株)
	10	佐藤 利文		東京工芸大学
	11	澤井 正幸	**	シャープ(株)
	12	鈴木 健彦		キヤノン(株)
	13	高橋 茂樹		山形大学
	14	田川 義之	**	東京農工大学
	15	田之上 剛	*	セイコーエプソン(株)
	16	寺尾 博年		アルプスアルパイン
	17	橋詰 博徳		(株)ミマキエンジニアリング
	18	福江 高志	**	金沢工業大学
	19	三矢 輝章		東京情報デザイン専門職大学
	20	宮戸 健志		富士フイルム(株)
監事候補	1	中居 達		王子製紙(株)

第1号議案関連 : 役員紹介 (2/3)

(2)2024年度 非改選の役員 (任期:2023年6月ー2025年6月まで)

区分		氏名		所属
理事	21	飯野 裕明		東京工業大学
	22	岩田 基		大阪公立大学
	23	木下 周三		三菱製紙(株)
	24	小林 範久		千葉大学
	25	中井 洋志		(株)リコー
	26	宮本 篤生		(株)巴川製紙所
監事	2	服部 好弘		コニカミノルタ(株)

第1号議案関連：その他の役員紹介 (3/3)

＜2023年度で退任された、あるいは2024年度総会をもって退任される理事・監事＞

区分		氏名	所属
退任予定 役員	理事	新井 啓之	日本工業大学
	理事	石本 文治	セイコーエプソン(株)
	理事	北野 賀久	富士フイルム ビジネスイノベーション(株)
	理事	坂口 雅敏	ブラザー工業(株)
	理事	田中 作白	京セラドキュメントソリューションズ(株)
	理事	直井 宏夫	シャープ(株)
	理事	中山 信行	東京工芸大学
	理事	渡辺 猛	東芝テック(株)
	幹事	山崎 弘	山崎国際コンサルティング

＜2024年度 幹事＞

河野 信明	元キヤノン(株)	朝武 敦	コニカミノルタ(株)
中山 信行	富士フイルムビジネスイノベーション(株)	福田 紘也	ブラザー工業(株)
宮本 栄一	京セラドキュメントソリューションズ(株)		

＜2024年度 顧問＞

北村 孝司 (千葉大学)	小門 宏 (東京工業大学)	高橋 恭介 (東海大学)
高橋 通 (元キヤノン(株))	田嶋 紀雄 (元コニカミノルタ(株))	中山 善萬 (大阪大学)
半那 純一 (東京工業大学)	平倉 浩治 (HiRAK、元(株)リコー)	横山 正明 (大阪大学)

第1号議案 事前投票結果

第1号議案
2024年度役員候補

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	29		
反対	1		

委任先	議長・会長	295
	その他会員	4
	合計	299

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. **第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認)** 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

第2号議案 2023年度事業報告

第67回定時総会議案
2023年度事業報告をご参照ください

下記 5委員会はスライドにて活動報告をします。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 編集委員会 | (宮本幹事) |
| 2. 技術委員会 | (小林理事) |
| 3. 企画委員会 | (中井理事) |
| 4. コンファレンス委員会 | (三矢理事) |
| 5. 事業委員会 | (木崎副会長) |

2-1 編集委員会

2023年度活動実績

■委員会組織・活動（各種活動は基本的にオンライン化）

- ✓ 編集委員会6回開催，特集企画会議開催
- ✓ 学会誌企画・編集，校正，各種WG

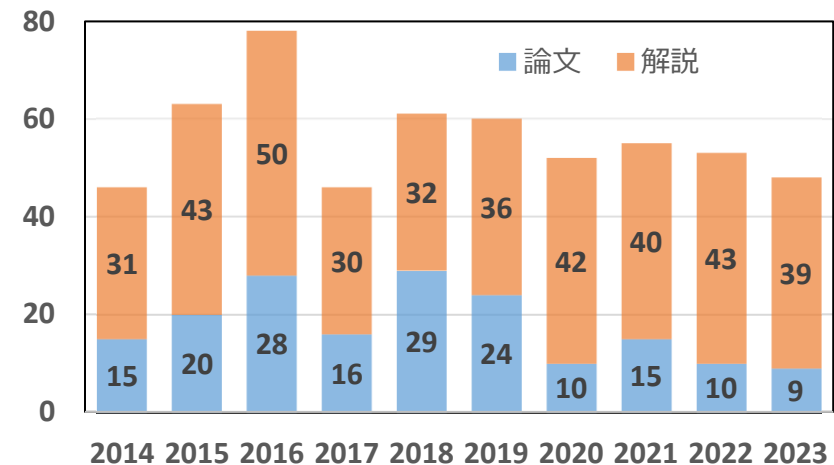
■学会誌

- ✓ 年6冊定時発行
- ✓ Special Topics（12月号）として
Computer Vision Technique，英文解説6報を掲載

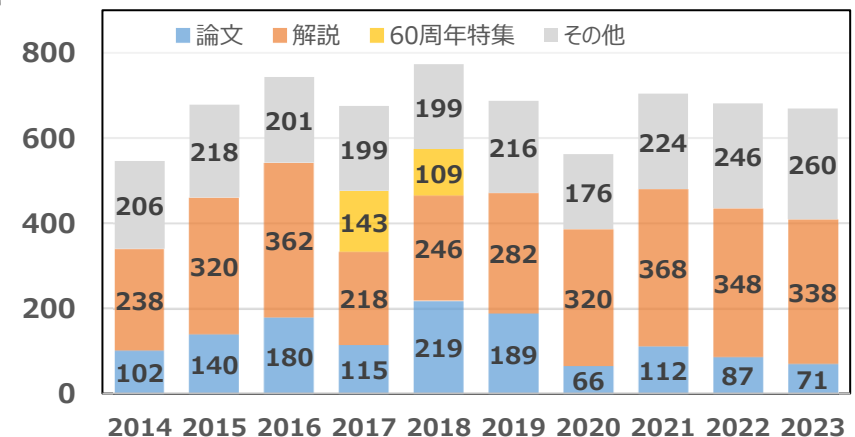
■その他の活動

- ✓ フリートーキング開催
 - 第42回「画像計測・処理・形成技術の新しい展開」と「画像技術や材料に関する各種規制に対する対応と今後（チョークポイントへの対応）」の2テーマ，2023/9/11
 - 第43回「オンラインコミュニケーションの普及とこれから」，2024/3/11
- ✓ 編集委員長賞選考・表彰
 - ICJ2023, ICJ2023 Fall

掲載論文数と特集解説数の年度推移



年度ごとのページ数内訳



2-2 技術委員会

2023年度活動実績

各部会企画の研究会等 実績(2023年4月～2024年3月)

■ 体制

委員長: 小林範久

副委員長: 藤井雅彦・前田秀一

■ 部会

新領域検討に向けたVision2030見直し継続。他領域・学会との共同開催(日本機械学会IIP等)

■ 討議・交流

メール主査連絡・会議(4/4, 4/25, 11/16, 12/19)、総会(1/19:参加者56名)開催

■ 複写機遺産

第4回複写機遺産募集・選定。2024年3月近日中に公開予定

■ 技術研究会

第157回(10/17)電子ペーパー/フレキシブル部会, 第158回(R6-02/20)電子写真技術部会(両会ともHybrid開催)。最低1回/2年での研究会開催を研究関連部会ミッションに明文依頼。

■ 技術講習会・シンポジウム

ICJ2023(千葉大)(オーガナイズドセッション企画)、第87回技術講習会(Hybrid 7/3-7)、電子写真Sim技術講習会(R6-03/01)、関西シンポジウム(Hybrid 5/19) 関東シンポジウム(Hybrid 12/15)、感性部会-視覚学会コラボ(online 全4回7/31-01/26)、IJ技術交流会等々

■ 書籍

「画像処理」出版(2024年3月 東京電機大学出版局刊行予定)

■ 領布・販売

標準キャリア領布(トナー技術部会)

2-3 企画委員会

2023年度活動実績

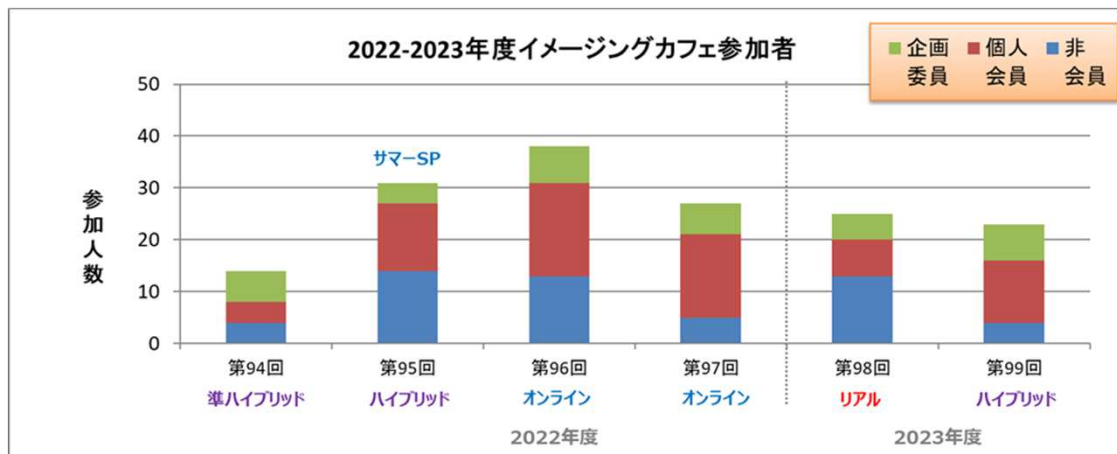
◆ イメージングカフェ

- 2023/4～2024/3の期間で計2回(累計99回)実施
- 今年度は3年半振りに完全リアル形式での見学会を開催(第98回)
- 延べ参加者36名(会員19名/非会員17名) ※委員・講師含まず

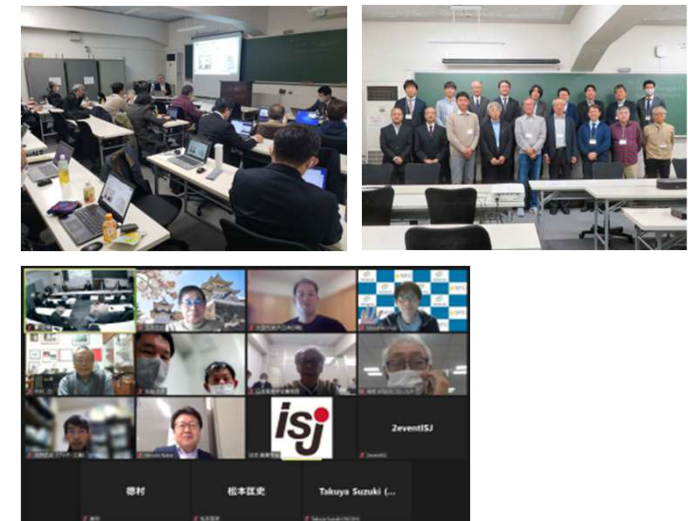
◆ 2022年度関東シンポジウム

- 『イメージング技術の最新動向と未来』～この10年の技術の変遷から将来を読む～ と題し、2023/12/15にハイブリッド開催(参加者38名、うち現地19名)

イメージングカフェ参加人数推移



関東シンポジウムの様子



2-4 コンファレンス委員会

2023年度活動実績

- **2023年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2023:ICJ2023)**
[日本画像学会研究討論会(第131回): 日本画像学会年次大会]
 - ・ 画像が拓く豊かな共奏社会の創造 (Enriched Synergic Society Powered by Imaging) をスローガンに2023年6月28日～30日に開催した。(Hybrid 形式にて実施)
 - ・ 学会実行委員制移行後 2年目、対面では初めての試行、体制根幹にかかわるクリティカルな課題はなかった
 - ・ テクニカルセッション以外に、キーノート1、バーチャルラボツアー1、記念講演2、懇親会1を実施
 - ・ 発表数54(目標60) 参加者数176(目標240) 高い設定もあって目標数未達ではあるが、COVID明け最初の対面コンファレンスとして成功と言えるのではないかと考える

2-5 事業委員会

2023年度活動実績

■ 活動報告

- **第87回技術講習会** 「ニューノーマル時代の画像技術の基礎と応用」
 日時：2023年7月3日、4日 [EP] 5日、6日 [IJ] 7日 [シミュレーション]
 会場：ハイブリッド(対面+Zoom)開催（講師、事務局は「ユニコムさがみはら」で運営）
 参加者数：77名（78）（ ）内は昨年実績

<トピックス>

- ・参加人数は昨年同等
- ・昨年対面での開催だったシミュレーション講習をハイブリッドで実施
- ・講習の有意性・満足度は大変良好な評価（アンケート結果より）
- ・初の試みとして、講師、受講者、実行委員で懇親会開催 技術者間の交流ができ好評



- **秋のチュートリアル**
 - ・2023年度は開催見送り
 - ・2024年度に向けて、新しいイベントを企画中

第2号議案 事前投票結果

第2号議案
2023年度事業報告

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	29	30	
反対	1	0	

委任先	議長・会長	295
	その他会員	4
	合計	299

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

2023年度 財務報告 (2023年度決算案)

財務委員会

2023年度決算報告

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

収支概要

単位 (円)

科目	補正予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,500	0	-2,500	(-_-)
会費収入	17,550,000	17,290,038	-259,962	(>_<)
事業収入	9,060,000	7,941,705	-1,118,295	(>_<)
受取利息収入	0	832	832	(-_-)
その他の事業活動収入	0	46,090	46,090	(^0^)
事業活動収入計	26,612,500	25,902,835	-709,665	(>_<)
2. 事業活動支出				
事業費支出	16,760,000	14,141,985	-2,618,015	(^0^)
管理費支出	12,310,000	12,350,244	40,244	(>_<)
法人税等	70,000	70,000	0	(-_-)
その他の事業活動支出	0	-2,340	-2,340	(-_-)
事業活動支出計	29,140,000	26,559,889	-2,580,111	(^0^)
事業活動収支差額	-2,527,500	-657,054	1,870,446	(^0^)
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 投資活動支出	0	0	0	(-_-)
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 財務活動支出	0	0	0	(-_-)
IV 予備費支出	0	0	0	(-_-)
当期収支差額	-2,527,500	-657,054	1,870,446	(^0^)

事業活動収支差額

当初予算(82万円)-
335万円

2023年度決算報告

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

事業活動収入詳細

単位 (円)

科目	補正予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,500	0	-2,500	(-_-)
会費収入	17,550,000	17,290,038	-259,962	(>_<)
正会員会費収入	5,000,000	4,622,569	-377,431	(>_<)
維持会員会費収入	12,500,000	12,312,109	-187,891	(>_<)
4 D F F 会費収入	50,000	355,360	305,360	(^0^)
事業収入	9,060,000	7,941,705	-1,118,295	(>_<)
研討・研究会参加費	4,500,000	3,939,500	-560,500	(>_<)
講習会参加費	2,200,000	2,077,900	-122,100	(>_<)
試験標準品頒布収入	1,500,000	496,520	-1,003,480	(>_<)
予稿集・技術資料頒布収入	50,000	101,835	51,835	(^0^)
出版物頒布収入	10,000	0	-10,000	(>_<)
会誌購読・BN頒布収入	300,000	865,950	565,950	(^0^)
広告収入	500,000	460,000	-40,000	(>_<)
雑収入	0	0	0	(-_-)
国際会議関係収入	0	0	0	(-_-)
4 D F F 研究会収入	0	624,170	624,170	(^0^)
受取利息収入	0	832	832	(-_-)
その他の事業活動収入	0	46,090	46,090	(^0^)
事業活動収入計	26,612,500	25,902,835	-709,665	(>_<)

対前年

事業活動収入 297万円減

①会費

55万円減

②研討・研究会/講習会参加費

14万円減

③試験標準品頒布

245万円減

④会誌購読・BN頒布

13万円増

2023年度決算報告

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

事業活動支出詳細 単位 (円)

科目	補正予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
2. 事業活動支出				
事業費支出	16,760,000	14,141,985	-2,618,015	(^0^)
会誌発行費 (A)	7,000,000	7,624,292	624,292	(>_<)
4DFFジャーナル発行費	100,000	0	-100,000	(^0^)
研討・研究会開催費 (B)	2,000,000	2,305,969	305,969	(>_<)
講習会開催費	1,000,000	920,601	-79,399	(^0^)
試験標準品作製費 (C)	350,000	293,700	-56,300	(^0^)
出版物作製費 (D)	2,000,000	0	-2,000,000	(^0^)
デジタル化費 (E)	800,000	561,223	-238,777	(^0^)
学会賞費	660,000	445,876	-214,124	(^0^)
諸委員会費 (F)	900,000	546,810	-353,190	(^0^)
理事会・評議員会・総会費	900,000	726,063	-173,937	(^0^)
国際会議関係支出	0	0	0	(-_-)
4 D F F 研究会支出	1,000,000	717,451	-282,549	(^0^)
公告宣伝費	50,000	0	-50,000	(^0^)
国際交流支出	0	0	0	(-_-)
60周年記念支出	0	0	0	(-_-)
管理費支出	12,310,000	12,350,244	40,244	(>_<)
通信・運搬費	450,000	407,538	-42,462	(^0^)
事務費	1,500,000	1,504,538	4,538	(-_-)
事務員費	9,800,000	10,209,234	409,234	(>_<)
事務機械化費 (E)	400,000	80,490	-319,510	(^0^)
雑費	100,000	88,744	-11,256	(^0^)
租税公課	0	200	200	(-_-)
管理諸費	60,000	59,500	-500	(-_-)
退職給付引当金	0	0	0	(-_-)
法人税等	70,000	70,000	0	(-_-)
その他の事業活動支出	0	-2,340	-2,340	(-_-)
事業活動支出計	29,140,000	26,559,889	-2,580,111	(^0^)

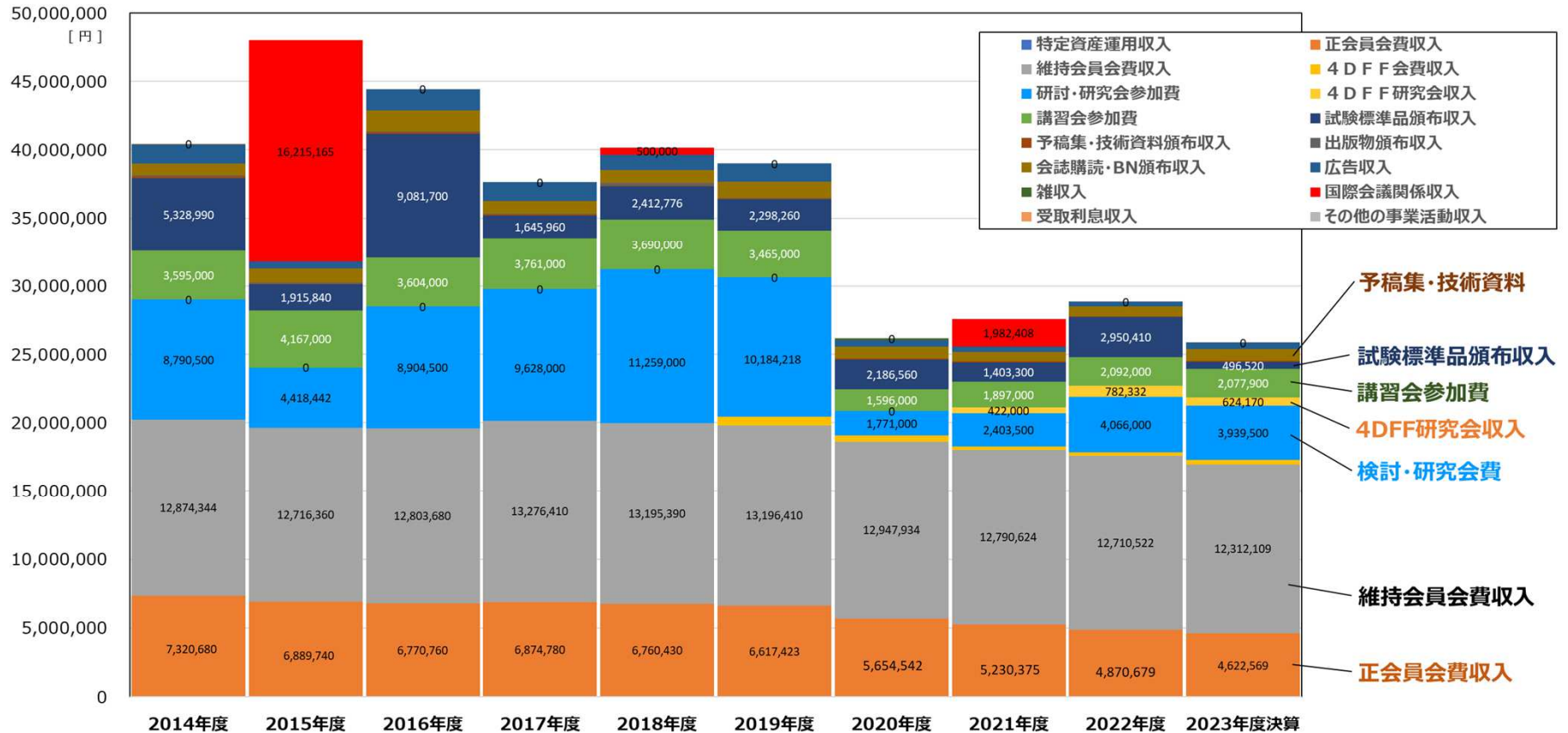
対前年	
事業活動支出	1万5千円増
(A) 会誌発行費	45万円増
(B) 研討・研究会開催費	94万円増
(C) 試験標準品作成費	172万円減
(D) 出版物作成費	3万円減
(E) デジタル化費/事務機械化費	64万円減
(F) 諸委員会費/ 理事会・評議会総会費	123万円増 リアル開催増

出版物製作費：当初予算(20万円)+180万円
諸委員会費/理事会・評議員会・総会費(15万円)：当初予算+165万円

事業活動収支状況

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

事業収入の推移

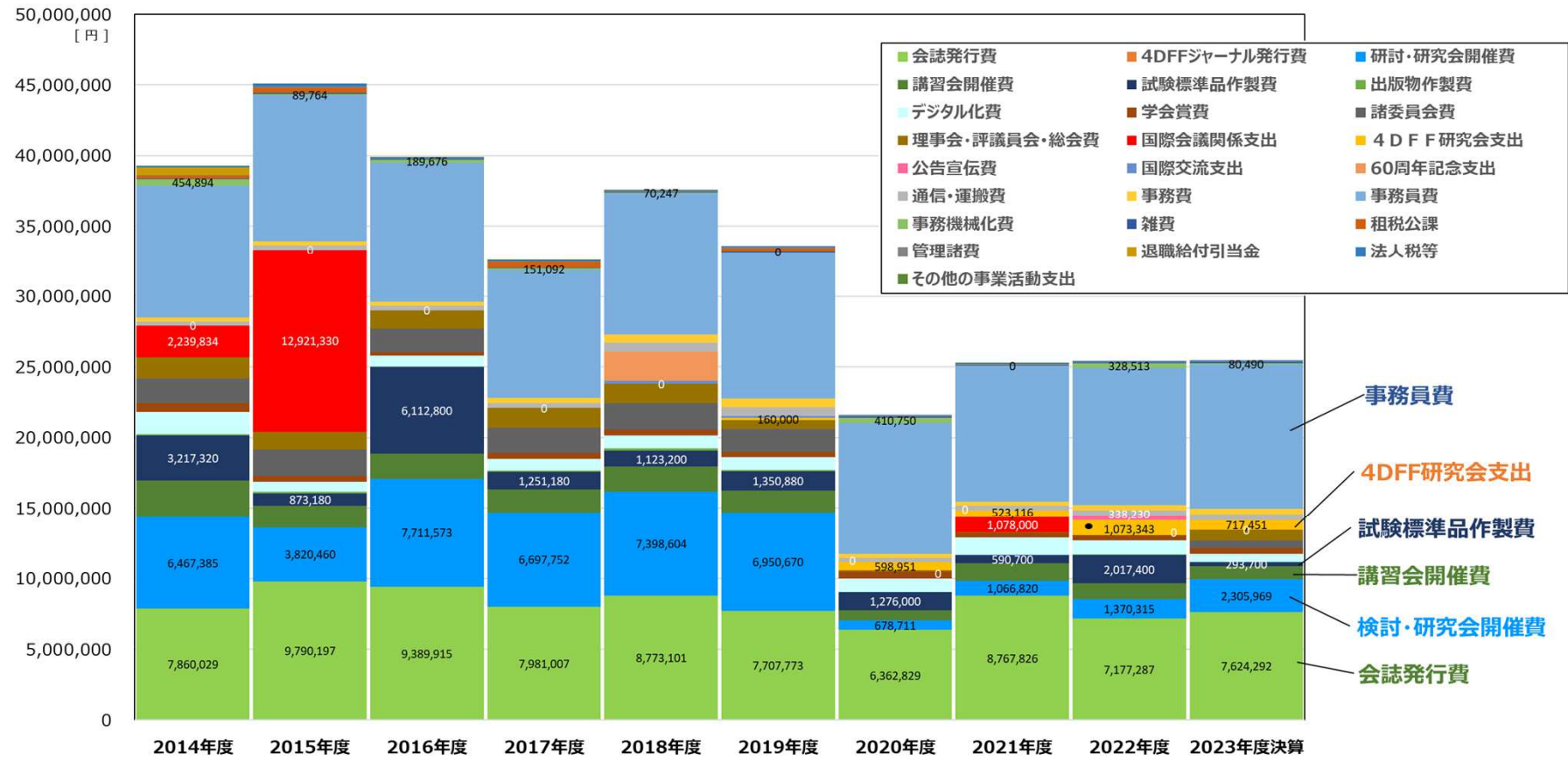


- ・正会員費収入は 4年連続落ち込み
- ・研究会、講習会参加費は復調もそのペースは鈍い

事業活動収支状況

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

事業支出の推移



事業支出は3年連続で2,600万円台で推移
諸委員会/理事会・評議員会・総会のリアル開催で費用増加傾向

監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の業務及び会計について監査を実施致しました。その結果について次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- ・監事は、理事会や重要な会議に出席するほか、日本画像学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け学会における業務及び財産の状況を調査致しました。
- ・日本画像学会の関係者および財務委員会から報告および説明を受け、監査委員会を実施し、決算報告書について監査を実施致しました。

2. 監査結果

2.1 業務監査の結果

日本画像学会の業務については、新型コロナウイルス禍が収束し、ハイブリッド型イベントの効果的な開催方法を取り入れながら、年度計画および事業計画等に基づき適正に運営されていると認めます。

2.2 会計監査の結果

2024年4月25日、Web会議にて監査委員会を実施した結果、加川財務委員長より説明があった、2023年度日本画像学会決算報告書(貸貸対照表、正味財産増減計算書、収支決算書、財産目録 他)は、必要な事項を正しく示していると認めます。

2023年6月12日

一般社団法人 日本画像学会監事

中居 達 服部好弘

第3号議案 事前投票結果

第3号議案
2023年度決算案・監査結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	29	30	30
反対	1	0	0

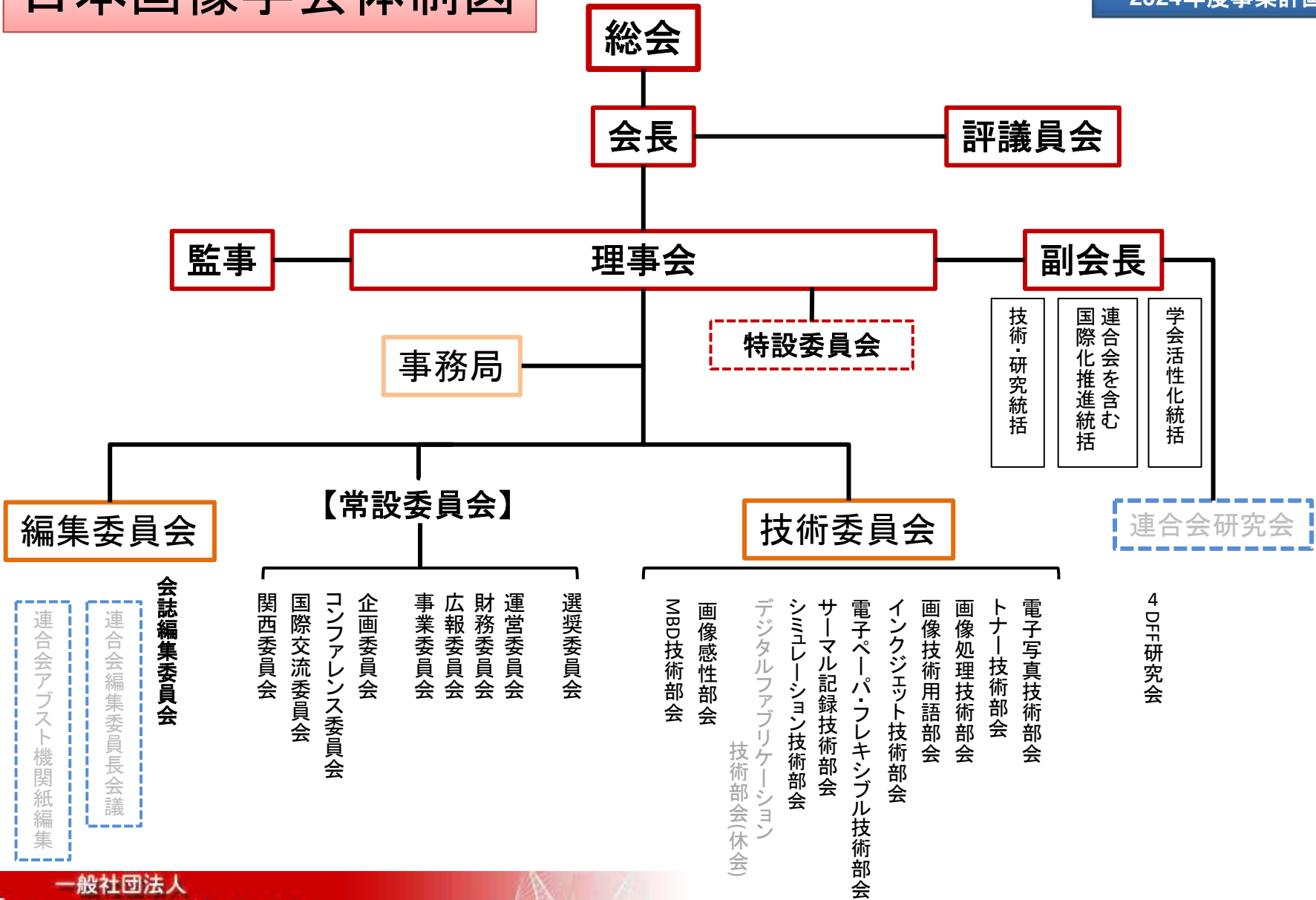
委任先	議長・会長	295
	その他会員	4
	合計	299

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

日本画像学会体制図



会長 藤井雅彦

執行部会

副会長 前田秀一
木崎宏恵

事務局長: 竹内達夫
運営委員長: 中山信行

赤字: 新任役員

【理事会】

理事(23名, 会長副会長3名)

飯野 裕明(東京工業大学)

梅津 信二郎(早稲田大)

加川 哲哉(コニカミノルタ)

木内 豊(富士フィルムビジネスイノベーション)

小林 範久(千葉大学)

佐藤 利文(東京工芸大学)

鈴木 健彦(キヤノン)

田川 義之(東京農工大学)

寺尾 博年(アルプスアルパイン)

橋詰 博徳(ミマキエンジニアリング)

三矢 輝章(東京情報デザイン専門職大)

宮本 篤生(巴川製紙所)

岩田 基(大阪公立大学)

面谷 信(東京電機大)

垣内 徹(ブラザー工業)

木下 周三(三菱製紙)

小山 明紀(京セラドキュメントソリューションズ)

澤井 正幸(シャープ)

高橋 茂樹(山形大学)

田之上 剛(セイコーエプソン)

中井 洋志(リコー)

福江 高志(金沢工業大学)

宮戸 健志(富士フィルム)

監事

中居 達(王子製紙)

服部 好弘(コニカミノルタ)

幹事

河野 信明(元キヤノン)

朝武 敦(コニカミノルタ)

中山 信行(富士フィルムビジネスイノベーション) 福田 紘也(ブラザー工業)

宮本 栄一(京セラドキュメントソリューションズ)

第4号議案
2024年度事業計画

編集委員会

総数22名

画像関連連合会合同誌

委員長: 宮本栄一
副委員長: 名越応昇, 山口大地
編集幹事: 石塚一輝

連合会編集委員長会議
アブストラクト集編集委員会

赤字: 新任委員長

【常設委員会】

選奨委員会	委員長: 飯野裕明	全4名
運営委員会	委員長: 中山信行	全9名
広報委員会	委員長: 河野信明	全6名
事業委員会	委員長: 木崎宏恵	全16名
財務委員会	委員長: 加川哲哉	全3名
コンファレンス委員会	委員長: 三矢輝章	全8名
企画委員会	委員長: 中井洋志	全9名
国際交流委員会	委員長: 朝武敦	全3名
関西委員会	委員長: 福田紘也	全13名

第4号議案
2024年度事業計画

技術委員会

委員長: 前田秀一
副委員長: 飯野裕明
副委員長: 宮戸健志

総数119名

電子写真技術部会	主査: 吉田 健	全14名
トナー技術部会	主査: 調整中	全13名
画像処理技術部会	主査: 松木 眞	全6名
画像技術用語部	主査: 坂谷一巨	全12名
インクジェット技術部会	主査: 名越応昇	全16名
電子ペーパー・フレキシブル技術部会	主査: 吉田 学	全10名
サーマル記録技術部会	主査: 寺尾博年	全9名
シミュレーション技術部会	主査: 門永雅史	全13名
デジタルファブリケーション技術部会(休会中)	主査: -	
画像感性部会	主査: 鎰谷賢治	全14名
MBD技術部会	主査: 山岸義弘	全12名

赤字: 新任委員長/主査

4-1 編集委員会

2024年度活動計画

■組織

- ✓ 編集委員会
 - 定期委員会開催（年6回）
 - 学会誌編集，校正
 - 査読マニュアルの整備継続
- ✓ 査読体制の強化の継続
 - 主に技術・学術面と，主に体裁・要件を審査する2名査読者体制継続
 - 技術面の査読候補者の拡充
 - 執筆要項，査読マニュアルの改訂
- ✓ 会誌電子配信の充実継続
 - 海外在住会員，シニア・学生会員
- ✓ 学会内他組織との連携
 - ICJ実行委員会との連携継続
 - ICJ2024 IT特別セッション「機能性ポリマー」

■学会誌

- ✓ 年6冊の定時発行
 - ICJ発表からの論文勧誘の促進継続
 - 年1回の英文クラスタ論文特集号
 - 特集記事（IT/AT）の充実
 - Imaging Highlight，教育講座，研究室訪問の掲載を継続

■IF (impact factor) 取得

- ✓ ESCI (Emerging Sources Citation Index) へ収載
 - Clarivate社への初回トリアージ申請

■その他の活動

- ✓ フリートークキング開催
 - 第44回，第45回を企画，開催予定
- ✓ ICJ編集委員長賞，学会誌論文賞

4-2 技術委員会 2024年度活動計画

新領域開拓・・vision2030見直し・修正継続、部会ミッション遂行、部会の縦(掘下げ)横(相互展開)展開

技術研究会の開催

技術交流会の推進

他学会/組織とのコラボ企画継続(日本機械学会IP、日本視覚学会等々)

ICJ2024(東工大すずかけ台)オーガナイズドセッション(部会企画)開催

活動予定

- ・主査会議、技術委員会総会の開催
- ・他学会/組織とのコラボ企画模索(予算建て含めて)
- ・技術講習会(春・秋)、関東・関西シンポジウムへの協力
- ・第5回複写機遺産認定事業

4-3 企画委員会

2024年度活動計画

- ◆ イメージングカフェ
 - ・ 次回第100回を区切りとして、新たな企画を立ち上げる
 - ・ 過去100回の内容を振り返り、画像技術の未来を討議するワークショップをICJ2024の中で実施する
- ◆ 2024年度シンポジウムの企画運営
 - ・ 各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピック紹介を主とした内容で12月に開催予定

4-4 コンファレンス委員会

2024年度活動計画

■ 2024年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2024:ICJ2024)

[日本画像学会研究討論会(第133回): 日本画像学会年次大会]

- ・ <概 要> 開催日:2024年6月12日(水)~14日(金)(Hybrid形式)
会場:東工大すずかけ台キャンパス
学振研究拠点形成事業の国際セッションを設ける
目標:発表60, 登録240 (達成)
- ・ <実行委員長>東工大 飯野裕明 理事にお願いする
- ・ <改 革> スローガンを刷新、会場を横浜に移し、Hybrid形式における学会実行委員制を継続させ完成させる、コロナ前企画の復活および新企画の導入を実施
- ・ <スローガン> 画像価値多様化への挑戦 — 来て・見て・語れ、画像技術の未来 —

4-5 事業委員会

2024年度活動計画

■ これからも若手／中堅技術者育成に繋がる活動を行います！！

- **第88回技術講習会** 2024年7月8日（月）～12日（金）
サブタイトル ニューノーマル時代の画像技術の基礎と応用
 - ・ハイブリッド開催（リアル会場は「ユニコムプラザさがみはら」）
 - ・『基礎知識の習得と深化』で実務に直轄できるプログラム作り、講習内容の充実
 - ・中堅者を対象とした技術動向、将来技術展望も盛り込む
 - ・懇親会等イベントを企画
 - ・シミュレーション講習も開催（シミュレーション部会と連携）★各社、各大学におかれましては、講師の派遣協力をありがとうございます
- **チュートリアル2024**
イベント企画中

2024年度 財務計画

財務委員会



2024年度予算編成方針

- ✓ 2024年度は、2023年度実績をベースとして、対面イベント増加に伴う費用増を盛り込んだ。
- ✓ 事業収入の部では、維持会員会費収入の漸減傾向を反映した。研討・研究会、講習会は実会場開催が増える見通しで参加費増とした。試験標準品は縮小傾向が続く予想とした。
- ✓ 事業支出の部では、出版物製作費200万円が24年度にずれ込むため200万円を計上した。
- ✓ また、上記通り研討・研究会費用は実会場開催が増えるため23年度実績より増額とした。
- ✓ コロナ禍の期間から続く会費収入の減少は23年度も続いており、これを抑制するためにも研討・研究会や講習会への注力は重要であると考える。
- ✓ 以上を盛り込み、2024年度は、収入額を2,645万円、収支差額を220万円の赤字予算編成とする。



財務委員会

収支予算概要

単位 (円)

科 目	24年度当初予算	23年度決算	23年度当初予算	23予算との差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	0	0	2,500	-2,500
会費収入 (A)	17,000,000	17,290,038	17,550,000	-550,000
事業収入	9,450,000	8,565,875	9,060,000	390,000
受取利息収入	0	832	0	0
その他の事業活動収入	0	46,090	0	0
事業活動収入計	26,450,000	25,902,835	26,612,500	-162,500
2. 事業活動支出				
事業費支出 (B)	16,200,000	14,141,985	13,310,000	2,890,000
管理費支出	12,380,000	12,350,244	12,410,000	-30,000
法人税等支出	70,000	70,000	70,000	0
その他の事業活動支出	0	-2,340	0	0
事業活動支出計	28,650,000	26,559,889	25,790,000	2,860,000
事業活動収支差額 (C)	-2,200,000	-657,054	822,500	-3,022,500

- (A) 会費収入漸減傾向を反映
 (B) 事業収支は新規出版の学会負担を反映
 (C) 収支上は220万円の赤字予算

一般社団法人

isj

日本画像学会

The Imaging Society of Japan

財務委員会

事業収入詳細

単位 (円)

科 目	24年度当初予算	23年度決算	23年度当初予算	23予算との差異
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	0	0	2,500	-2,500
会 費 収 入	17,000,000	17,290,038	17,550,000	-550,000
正 会 員 会 費 収 入	4,600,000	4,622,569	5,000,000	-400,000
維持 会 員 会 費 収 入	12,000,000	12,312,109	12,500,000	-500,000
4 D F F 会 費 収 入	400,000	355,360	50,000	350,000
事 業 収 入	9,450,000	8,565,875	9,060,000	390,000
研 討 ・ 研 究 会 参 加 費	5,000,000	3,939,500	4,500,000	500,000
講 習 会 参 加 費	2,200,000	2,077,900	2,200,000	0
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	450,000	496,520	1,500,000	-1,050,000
予 稿 集 ・ 技 術 資 料 頒 布 収 入	100,000	101,835	50,000	50,000
出 版 物 頒 布 収 入	0	0	10,000	-10,000
会 誌 購 読 ・ B N 頒 布 収 入	600,000	865,950	300,000	300,000
広 告 収 入	400,000	460,000	500,000	-100,000
雑 収 入	0	0	0	0
国 際 会 議 関 係 収 入	0	0	0	0
4 D F F 研 究 会 収 入	700,000	624,170	0	700,000
受 取 利 息 収 入	0	832	0	0
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	46,090	0	0
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	46,090	0	0
事業活動収入計	26,450,000	25,902,835	26,612,500	-162,500

① 会員数維持と維持会員口数減少歯止めを期待

② 研討・研究会と講習会の対面開催化による増収を見込む

一般社団法人

isj

日本画像学会

The Imaging Society of Japan

財務委員会

事業支出詳細①

単位 (円)

科 目	24年度当初予算	23年度決算	23年度当初予算	23予算との差異
2. 事業活動支出				
事業費支出	16,200,000	14,141,985	13,310,000	2,890,000
会誌発行費	7,050,000	7,624,292	7,000,000	50,000
4 D F F ジャーナル発行費	0	0	100,000	-100,000
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	2,250,000	2,305,969	2,000,000	250,000
講習会開催費	1,000,000	920,601	1,000,000	0
試験標準品作製費	300,000	293,700	350,000	-50,000
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	2,000,000	0	200,000	1,800,000
出版物作製費	2,000,000	0	200,000	1,800,000
デジタル化費	600,000	561,223	800,000	-200,000
学会賞費	500,000	445,876	660,000	-160,000
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	900,000	546,810	100,000	800,000
諸委員会費	900,000	546,810	100,000	800,000
理事会・評議員会・総会費	900,000	726,063	50,000	850,000
国際会議関係支出	0	0	0	0
4 D F F 研究会支出	700,000	717,451	1,000,000	-300,000
公告宣伝費	0	0	0	0
国際交流費	0	0	50,000	-50,000
60周年記念支出	0	0	0	0

- ① 対面イベント増に備えて増額方向
 ② 新規出版の学会費負担金を反映
 ③ 22年度→23年度の傾向を元に増額

財務委員会

事業支出詳細②

単位 (円)

科 目	24年度当初予算	23年度決算	23年度当初予算	23予算との差異
2. 事業活動支出				
事業費支出	16,200,000	14,141,985	13,310,000	2,890,000
管理費支出	12,380,000	12,350,244	12,410,000	-30,000
通信運搬費	400,000	407,538	450,000	-50,000
事務費	1,500,000	1,504,538	1,500,000	0
事務員費	10,220,000	10,209,234	9,800,000	420,000
事務機械化費 A	100,000	80,490	400,000	-300,000
雑費	100,000	88,744	100,000	0
租税公課	0	200	0	0
管理諸費	60,000	59,500	60,000	0
退職給付費用	0	0	100,000	-100,000
法人税等支出	70,000	70,000	70,000	0
その他の事業活動支出	0	-2,340	0	0
事業活動支出計	28,650,000	26,559,889	25,790,000	2,860,000
事業活動収支差額	-2,200,000	-657,054	822,500	-3,022,500

財務委員会

投資活動、財務活動収支

単位 (円)

科 目	24年度当初予算	23年度決算	23年度当初予算	23予算との差異
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	0	0	0
器具備品取得支出	0	0	0	0
器具備品購入支出	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	-2,200,000	-657,054	822,500	-3,022,500
前期繰越収支差額	34,140,099	34,797,153	34,797,153	-657,054
次期繰越収支差額	31,940,099	34,140,099	35,619,653	-3,679,554

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

【事前投票でのご意見・ご要望】

■ 学会運営

- ✓ 電子写真方式の今後を考えるべく、オフィス分野以外での展開の可能性を探る調査の企画、そうした内容の発表、それによりオフィス分野以外での電子写真の啓蒙を是非、ご検討ください。微力ながら、もしこちら実施されるのであればご協力させても頂きますので。
- ✓ 新領域の取り込みと旧来領域の促進をバランス良く取り組んでいくことで、学会自体の活性化と業界の発展貢献に繋げてくれることを期待しています。
- ✓ 個人会員の減少が下げ止まらないこともあるので、新規な施策も議論した方が良いと思われる。若手の委員抜擢など制度改革も必要と考えます。とにかく運営委員の老齢化に歯止めがきかない。
- ✓ 建設的な活動を期待しております。
- ✓ 急激な会員減少への対策が必要です
- ✓ 活発な活動と成果に期待しています
- ✓ 活動に対する予算の計上はどこまで可能でしょうか？会議室の予約費、遠方からの交通費等です。

【事前投票でのご意見・ご要望】

■ 学会運営

- ✓ 学会の運営に対し感謝申し上げます。
- ✓ 益々のご発展をお祈り申し上げます。
- ✓ 「画像学会」を名乗っている限り、会員数減少は止まらないと思います。4DFFや3D、その他の産業分野への応用の可能性を踏まえた名称に変更する必要があると感じます。かつて、電子写真学会から画像学会に変更することで、IJ技術や他のイメージング関連技術を包含するようになった経緯もあるので。早急に、名称変更の議論を始めましょう！

2024年度 定時総会 進行次第

(2024年6月12日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2024年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2023年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2023年度決算案・監査結果(審議・承認) 加川・服部
7. 第4号議案:2024年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・加川
8. 質疑応答
9. 閉会の辞